

文化活動発表の場 検討マトリックス

大野市文化会館あり方検討委員会においてこれまで協議された内容について、対応が可能か否かを区分

○・・・対応可能
×・・・対応不可

1「市に必要な文化活動」 どのような文化活動を担う施設にするか

- ①子どもたち、市民・団体の発表の場にする。
- ②子どもたちも高齢者も楽しめる場にする。
- ③地域の伝統文化を引き継ぐ場にする
(有名人を呼ぶ場ではない)

2「財政」 財政面に対する考え、行政で担えるか

- ①前回の基本計画整備案が議会で認められなかった費用の問題を考慮しているのか。
- ②中期財政見通しのとおり、市の負担が大きく整備が厳しいのに整備するのか。
- ③さらに客席や面積などの規模を減らすと安くなるのか。
- ④人口減少が進む本市に大きな負担となる文化会館を建てて多額の借金を残すのか。

総事業費（現文化会館解体含む）

	② 現文化会館 建替	②-1 駅東公園 新築	③ 結とびあ 増築	④ 図書館増築	(代替案) 結とびあ 多目的ホール 改修	整備しない 場合
①子どもたち、市民・団体の発表の場にする。	○	○	○	○	○	既存活用
②子どもたちも高齢者も楽しめる場にする。	○	○	○	○	○	既存活用
③地域の伝統文化を引き継ぐ場にする (有名人を呼ぶ場ではない)	○	○	○	○	○	既存活用
①前回の基本計画整備案が議会で認められなかった費用の問題を考慮しているのか。	×	×	×	×	○	既存活用
②中期財政見通しのとおり、市の負担が大きく整備が厳しいのに整備するのか。	×	×	×	×	○	既存活用
③さらに客席や面積などの規模を減らすと安くなるのか。	×	×	×	×	○	既存活用
④人口減少が進む本市に大きな負担となる文化会館を建てて多額の借金を残すのか。	×	×	×	×	○	既存活用
総事業費（現文化会館解体含む）	2,678百万円	2,726百万円	2,286百万円	2,788百万円	797百万円	304百万円
	×	×	×	×		

- ⑤立派なところでなければ実施できないものは多くない。年間3千万円の維持費は掛けられない。
- ⑥財政的に新しい整備は無理であり、これぐらいが限界という状況での市の提案である。
- ⑦代替案であればランニングコストは560万円で済む。
- ⑧20数年後に結とびあ本体の長寿命化が必要となるのではないかと。⇒代替案の有無にかかわらず、施設の状況に応じて適正に管理し、長寿命化を図る。
- ⑨代替案は、整備費も維持費も4案より安い、使わないのであれば税金の無駄となる。⇒利用団体は一定数ある。

3「規模」 施設に求める規模や設備

- ①コンパクトな施設にすると、大きなイベント時に客数が限られる。⇒事業費を抑えるにはコンパクト化が必要だが、代替案は800人収容可能である。
- ②多目的ホールで結の故郷吹奏楽祭を行っているが、ステージの幅が狭く十数人しか座れない。⇒可動式ステージの新設で対応する。
- ③多目的ホールステージの低い天井に照明を付けると、演奏者が熱射病になったり火事になる心配がある。⇒LED照明にすることで温度上昇はないと考える。
- ④多目的ホールは、スポーツと併用となるのに、整備する設備の耐久性は大丈夫なのか。⇒耐久性は業者に確認済みである。
- ⑤多目的ホール改修案の音響照明の見積は、従来開催されてきた発表会、文化祭の演出・進行が可能な設備が見込まれているのか。⇒見込まれている。
- ⑥多目的ホールの客席は、フラットだからステージが見えない。⇒前席と被らない交互の配置やイスの間隔を広く確保することなどにより対応する。
- ⑦音が出てしまうパイプ椅子が演奏中に雑音になる。部分的に音が出にくい椅子を検討してほしい。⇒イスの足部分への緩衝材使用などで対応する。
- ⑧多目的ホールへの可動式ステージの設置は、足音がするため踊りながら演奏することはできない。⇒音が出ないようステージの仕様を検討する。
- ⑨多目的ホールは、ステージの後方だけでなく、上方や側面にも動かせる可動式の反響板が必要である。
⇒専門家からは可動式の音響反射板を含めた整備案が、従来開催されてきた文化活動には対応可能であることを確認している。
- ⑩多目的ホールは、ステージに上がる入口が片開きのドアで狭い。⇒可動式ステージの設置により、ステージ上への導線の確保などにより対応する。
- ⑪多目的ホールは、あくまでも体育館であり音楽ホールにはならない。壁面は吸音ではなく反響しないといけなく、防音カーテンをつけなければならないという問題ではない。
⇒音楽ホールに近づけられるよう天井防音、壁面吸音、防音扉、ルーバーなどの組み合わせにより対応する。
- ⑫多目的ホールの照明や音響の調整卓は、2階にあるのに下の人とどう連携するのか。⇒可動式操作卓の設置により対応する。

4「利用面」 利用面に関する考え

- ①多目的ホールを代替施設にするなら、体育館利用はやめてほしい。⇒スポーツ団体との利用調整は可能であり、体育館としても利用を継続する。
- ②多目的ホールは控え室がなく、出演者は2階の会議室で着替えて客席の横を通りステージに向かうことになる。
⇒代替案により諸室を新設する。ステージに向かう時は、間仕切りなどを設置し、客の目に触れない動線確保などにより対応する。
- ③イベント時、前日イス設置、当日リハ・本番、翌日片付けで3日掛かるが、使用調整ができるのか。⇒年間20回程程度の3日連続使用の調整が可能である。
- ④自分が文化会館で行ったイベントは、照明も音響も全て持ち込みだったため多目的ホールでもできる。
- ⑤代替案は、発表会や文化祭、コンサートをスポーツ大会やイベント、展示会などと融合利用することが可能となる。
- ⑥代替案は、基本スポーツメインの会場であることは間違いないが、新たな様式での文化の発信の場になることも可能と思われる。
- ⑦代替案は、コスト面や多彩な催事、文化祭と物産イベントの同時開催などの展開による交流活性化、集客力、周知力効果は得られると考えられる。
- ⑧文化会館は練習場も会議室もあり練習する人が多いが、代替案は考慮されていない。
⇒結とびあ1階ロビーに新設する諸室や既存の音楽室等の使用が可能である。他施設の利用でも対応する。
- ⑨代替案であれば令和8年6月の文化会館休館後、間もなく施設利用可能ではないか。⇒新築増築案よりも早期に対応可能である。

5 その他

- ①委員会でここまで検討してきたが、やはり市民に「どうですか」というアンケートが必要。⇒実施是非の検討が必要となる。